

つく谷集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成22年 7月28日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	鳥取市	組織名	つく谷水稲生産組合
------	-----	-----	-----------

1 地区の範囲
鳥取市佐治町 つく谷地区

2 地区の概要

水田面積	5.6 ha
主な水田栽培作物	水稲、野菜
農家数	30 戸
認定農業者数	1 経営体
地域水田農業ビジョンの担い手数	1 経営体 (つく谷部落水稲生産組合)

3 組織化の目標 (設立時期の目標は、事業実施年度内とする。)
・ 設立時期 (規約等の制定日) 【平成22年4月1日】

	組織形態 (該当形態に○)	加入農家数
【現状】前年度実績 (21年度)	<ul style="list-style-type: none"> 未組織 作業受託型 <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用型 <input type="checkbox"/> 協業経営型 	15 戸
【目標】事業開始翌年度 (23年度)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 共同利用型 <input checked="" type="checkbox"/> 作業受託型 <input type="checkbox"/> 協業経営型 	15 戸

4 集積率 (経営、機械の共同利用と作業受託) の目標

項 目	【現状】	【目標】
集 積 面 積 ①	2.6 ha	2.8 ha
うち経営及び作業受託 ②	0.1 ha	0.4 ha
対 象 水 田 面 積 A	5.5 ha	5.5 ha
集 積 率 ①/A	46.4 %	※③ 51.2 %
うち経営及び作業受託 ②/A	2.3 %	※④ 51.2 %

注1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。
 2) ※④の経営及び作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円 (新設組織の場合は事業費上限20,000千円)、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。
 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標 (実績) 一覧」により作成。

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1	<p>担い手の明確化及び水田利用集積目標 ※考え方（担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて）</p> <p>つく谷集落は、水田5.6ha、農家30戸で水稲作付が57%で、転作作物は主に野菜を栽培している。当集落は、ほ場整備に併せ平成2年度に集落営農組合を設立し、機械の進入ができる範囲で稲作の耕起（代掻）・田植の共同利用を行ってきた。</p> <p>耕作者の高齢化に対応し、生産組合として秋作業も取り入れ一貫作業とし受託事業にも取り組んでいく計画としている。</p> <p>集落の後継者にも積極的にオペレーターに参加してもらっている。</p> <p>今後は耕作できない農家の農地を組合で借り受けることも考えていきたい。</p>
2	<p>水田作付計画、生産調整の方針・具体策 ※考え方（今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。）</p> <p>現時点では、水田の荒廃防止及び組合員外への農地の貸し出しを防ぎ、生産調整にも組合全体で効率よく取り組めるので意識固めを図っていく。</p>
3	<p>農業用機械施設の効率利用 ※考え方（省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。）</p> <p>1戸当たり耕作面積が20aにも満たない零細農家が多く、組織での農業機械の共同利用の必要性を感じているが、供出農家は4戸程度でライスセンターなどの利用には不向きである。</p> <p>高齢化によるハゼかけもできない飯米農家がほとんどであり、不便さから乾燥機の設置も計画しました。</p>
4	<p>経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューの実施組織は必ず記入】 ※考え方（どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取り組みなどについて。）</p> <p>該当なし</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	2条刈 がレタック付	1台	2,220,000円	平成22年9月	○
乾燥機	15石	1台	1,134,000円	平成22年9月	○